

常林院

浄土宗西山禅林寺派

紫雲山 常林院

平成十五年十月発行（第三号）

いよいよ、晋山式・退山式まで後二週間余りとなりました。皆様の温かい御協力、御尽力のお陰で、着々と準備も整って参りました。また、御本尊も御洗いにより輝きを増しました。深く感謝し御礼申し上げます。

晋山式とは

晋山式とは。「晋」は進むという意味。「山」はお寺という意味。つまり、新しい住職がお寺に入る式ということです。退山式は、晋山式の反対で、お寺を退く式ということです。式の内容で一番重要なことは、皆様の御先祖様を記した過去帳の受け渡しです。退山式で先住職が過去帳をお寺に返し、晋山式で新任職が過去帳を受け継ぎます。

当日（十一月二日）の式の流れ

一時

退山式

先住職が過去帳をお寺に返します。

送別の辞（西福寺 水野良雄師）

檀家総代挨拶（西田清司）

先住職謝辞 (松原玄輝)

説教

行列が到着する間、香泉寺の小木曾善龍師にお話をし
て頂きます。

一時半

行列

新住職が総代様の家からお寺まで、僧侶・稚児と共に
練り歩きます。

(行列は、葛野大路九条から葛野大路沿いに常林院まで
約三十分間かけて練り歩きます。)

二時

門前式

行列がお寺に到着。山門が閉まっています。お経を唱
え、新住職が開門の偈を唱えると、山門が開きます。
それをもって初めて新住職は、常林院に迎えてもうこ
とになるのです。

晋山式

稚児の献灯献華

晋山の疏(新住職が御本尊、歴代上人に晋山した旨を
申し上げる。)

過去帳授与

祝辞 (浄土宗西山禅林寺派宗務総長 鬼頭誠英師)

(京都府宗務支所長 檀上庠一師)

檀家総代挨拶 (西田清司)

今回の晋山式を機に、本尊阿弥陀如来様の御洗いを致しました。
当寺の記録には、御本尊に関する資料が全くありません。今回の御洗いの際に、制作年代や作者が分かるかと期待をしましたが、残念ながら分かりませんでした。

しかし、皆様の御寄進の御陰で御本尊もすっかり綺麗になりました。
本当に有難うございました。



御洗い前



御洗い後



光背は金箔を張替えたので、
新品同様になりました。

御本尊は、もともとの古色を
失わないように、御洗いだけに
留めました。

御本尊の他にも、御施主様
により、仏具を幾つか修復し
て頂きました。修復後は、今
まで以上に、本堂が厳かに、
そして明るくなりました。

御本尊や本堂仏具を修復することは、そう簡単にはできないものです。
今回このような大きな修復をすることができたのも、檀信徒皆様お一人
お一人の御協力があつてこそです。深く感謝申し上げます。

莊嚴を加えた御本尊は、子々孫々に至るまで、今のお姿を留められ、
我々子孫をお守りされることと思えます。

低頭合掌



修復後



修復前